

公益社団法人 日本ライフル射撃協会

指導者資格認定制度

NRAJ COACH LICENSE

2015年9月1日改定

この制度は、2020年に日本で開催される東京オリンピックに出場しメダル獲得を目的とし、一貫育成システムに基づいたコーチングを行う為に制定する。現在、日本で取得できるライフル種目の公認コーチ制度は日本体育協会が主体となっており、国体を頂点とした講義内容となっている。今回、新設する制度では、公認コーチ講習会をベースに、更に選手の育成段階から国際レベルを見据えたコーチングを行う内容を取り入れ、ISSF コーチライセンスの取得を推進するもので、レベル毎に選手のニーズに応じたサポートの展開を行うことを目的としている。協会事業として実施する合宿、競技会派遣に参加するコーチは本コーチライセンス取得者に限られ、規定により手当が支払われる。協会統一基準のコーチライセンス制度導入によって、日本ライフル射撃界全体がレベルアップすることを目指す。尚、ライセンス登録者へはコーチライセンス証(写真入り)が付与されるとともに会員に公表される。

A コーチライセンス

オリンピックでのメダル獲得を目標として活動するナショナルチーム選手のコーチングを行う為の指導者資格。資格取得者の中から、海外遠征の帯同コーチを選任する。国際大会での選手サポートを最大目的とした資格である為、射撃技術の指導に留まらず、オリンピックムーブメント・英会話・チームマネジメント等総合的なスキルを身につけるカリキュラムとなっている。

概要	<ol style="list-style-type: none">1. 集中講義(2日間×3回)を受講後、試験(筆記・実技・プレゼン)実施。2. 講義内容: オリンピックムーブメント、アンチドーピング、ニュートリション、メンタルメソッド、フィジカルトレーニング、英会話(英検準1級、TOEFL70、TOEIC600~700程度)プレゼンテーション、射撃コーチングスキル、ディスカッション、チームマネジメント、コンプライアンス、情報分析。3. 面接(強化本部長、選手強化委員長、専務理事)
受講資格	<ol style="list-style-type: none">1. 養成講習会受講時に満27歳以上の者で年間150日以上指導にあたる者。2. 1の条件を満たし、かつ本制度 B クラスコーチライセンス取得者、またはISSFアカデミーコーチコースBクラス取得者。
登録料	年度毎に 10,000 円(4年毎の更新時にリフレッシュ研修受講)
受講定員	隔年5名程度(ライフル、ピストル合計)

B コーチライセンス

ナショナルチーム(日本代表)選手またはナショナルチーム活動を目標とするMPA選手の育成・強化を行うコーチの資格。コーチングスキルのレベルアップを目的に実際に選手への指導を行うカリキュラム。ライフル射撃競技の全体像を理解した上で、知識・指導力を習得する。資格取得者は選手と共にナショナルチーム合宿、MPA合宿への帯同が認められる。

概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 集中講義(2日間×2回)を受講し後、試験(筆記・実技・プレゼン)実施。 2. 講義内容: アンチドーピング、ニュートリション、メンタルメソッド、フィジカルトレーニング、英会話、プレゼンテーション、コーチング、ディスカッション、銃器取扱、危害予防、協会の歴史、メディア対応。 3. 面接(選手強化委員長、MPA 専門部会長、専務理事)
受講資格	<ol style="list-style-type: none"> 1. 養成講習会受講時に満25歳以上の者で、年間100日以上指導にあたる者。 2. 1の条件を満たし、かつ本制度Cクラス取得者、またはISSFアカデミーコーチコースCクラス取得者、またはJOCナショナルコーチアカデミー修了生、または日本体育協会公認上級コーチ、JPCコーチの資格者、のうち3年以上の指導実績を有する者。 3. 1. 2の条件を満たし、原則空気銃または装薬ライフル銃所持者、空気けん銃または装薬けん銃所持者であり段級所持者。 <p>* ISSFアカデミーコーチコースCクラス取得者、JOCNCA修了生、日本体育協会公認上級コーチ資格者については免除科目あり。</p>
登録料	年度毎に 5,000 円 (3年毎の更新時にリフレッシュ研修受講)
受講定員	隔年10名程度(ライフル、ピストル合計)

C コーチライセンス

MPAを目指している選手(特に低年齢者18歳未満)の育成にあたるコーチの資格。ライフル射撃競技全般における基礎知識を習得したうえで、法令を理解・遵守し、常時、安全に競技銃を取り扱い、また、選手への安全遵守、並びに技術指導を行うことを重点的に学ぶ。

概要	<ol style="list-style-type: none"> 1.集中講義(2日間×2回)を受講し後、試験(筆記・実技・プレゼン)実施。 2.講義内容: 銃刀法全般、競技ルール全般、銃器安全取扱、危害予防、協会の歴史 アンチドーピング、栄養学、心理学、フィジカルトレーニング、コーチング、ディスカッション プレゼンテーション、メディア対応。
----	--

<p>受講資格</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 養成講習会受講時に満22歳以上で実技経験または指導経験3年以上の者で年間50日以上指導にあたる者。 2. 1の条件を満たし、原則空気銃・空気けん銃、装薬ライフル銃所持者であり段級所持者、または年少射撃資格者の為の射撃指導員。 3. 1. 2の条件を満たし各都道府県ライフル射撃協会または加盟団体が推薦する者。 4. 1. 2. 3の条件を満たす者、または、2の条件を満たし以下の資格を一つ以上を有する者。 日本体育協会公認コーチ、射撃指導員、日ラ公認審判員、ISSF国際審判員、ISSFコーチライセンス、JOCナショナルコーチアカデミー修了生(JOCNCA)、障害者中級指導員。
<p>講義内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 集中講義(2日間×2回)を受講後、試験(筆記・実技、面接) 2. 講義内容は以下の通り。銃刀法全般、競技ルール全般、銃器安全取扱、危害予防、協会の歴史、アンチドーピング、栄養学、心理学、フィジカルトレーニング、コーチング、ディスカッション、コンプライアンス。
<p>登録料</p>	<p>年度毎に 2,000 円</p>